

“緑の小さな森” エコクラブの活動

- 1 自治体名： ウブルハンガイ県
- 2 発表者名： ソドノムドルジ (Ts. SODNOMDORJ)
(アルバイヘル市第一学校)
- 3 活動名： “緑の小さな森” エコクラブの活動
- 4 活動期間： 通年
- 5 活動場所： アルバイヘル市
- 6 活動人数： 32 人
- 7 活動をはじめた経緯及び発表要旨

ウブルハンガイ県第一学校の“緑の小さな森”エコクラブは、2007年に16人の生徒によって設立された青少年の組織である。現在、参加生徒数は32人になり、1,300人のサポーターと2人の指導教師とともに、活動を行っている。

エコクラブの目標：

エコクラブは、友人やクラスメート、市民に、環境保全の重要性について知らせたり、学習させたりすることにより、彼らが自ら協力して、砂漠化を防ぐために木や花を植える、身近な場所にゴミを捨てずきれいに保つなどの活動を行うようになることを目標としている。

エコクラブの活動：

・エコクラブのメンバーである生徒たちは、県の環境観光部やエコクラブの指導教師とともに、2009年4月17日から5月20日までの間、“我々生徒の参加により緑のある環境をつくる”をテーマとした学習会を開いた。この学習会に参加した生徒たちは、環境保全の伝統的な考え方を理解し、木や花を植えることの重要性を理解させるための体験や学習を通して、友人やクラスメートに木や花を植える方法等を教えることができるようになるなど、他の人の模範となった。

・ウブルハンガイ県アルバイヘル市のゲル地区に住む約400人の市民を対象に、2009年7月2日から9月25日までの間、“我々市民が健全な環境をつくる”をテーマとした学習会を2段階で行った。この学習会では、公共トイレや排水ポンプの衛生、水の衛生などに関して、合計72時間の学習を行った。生活水準は低い、健全な環境で生活したいという気持ちがあり、我々の活動に積極的に参加している人の家庭のトイレや排水ポンプなどを、地元住民たちと協力して修理した。

・“千花の祭り”という総合活動を、2009年9月28日に学校において行った。祭りには、第一学校の合計40組2,400人の生徒、76人の先生、約1,300人の親たちが参加した。祭りには、合計2,538本の花が展示され、“一番綺麗な花”、“一番珍しい花”、“一番多様な花”を出展した生徒を選び、皆さんに報告した。

・“ゴミのないきれいな環境”という活動を行っている。この活動では、“捨てなければゴミではない”をテーマとした学習を行った。また、“不要なものからモノを作ろう”をテーマとして、リサイクル材料を利用して作った作品のコンテストや、“誰が一番良いデザインのごみ箱を作るか”というコンテストを行った。お金を使わずに、リサイクル紙でゴミを分別するゴミ箱を作ったことは経済的であった。また、①環境保全、②環境汚染された地域の汚染原因、③人間による環境破壊の防止対策 に関して、“子どもたちの参加”をテーマとした絵画コンクール、スピーチコンテスト、クイズ大会を常に行っている。

エコクラブのこれからの目標：

汚染された地域の環境を保全・復元させる活動に、より多くの同年代の子どもたちを参加させるために、政府や非政府組織と協力し、子どもの環境に対する意識、行動を変革させる学習や啓発活動を体系的に行うことや、我々の活動を他の地域に広げるため、他の地域にもエコクラブを作ることを目標としている。

このように、未来のことを考えながら、単なる地域レベルではなく、地域を超え、そして国レベルで活動を実施するよう努力している。